

平成28年度キャリア教育講話

本校では池田町と連携してキャリア教育を推進しており、その一環として平成28年10月14日（金）、テムスト株式会社キャリア教育事業部長の**森 哲也**様をお招きし、3年生を対象に『キャリア教育講話』を実施しました。

森先生は、キャリアコンサルタントとしてもご活躍されており、企業の人事採用試験で年間数千名を超える面接を行っていらっしゃいます。実体験に基づくお話は、1つ1つの言葉に非常に重みがあり、聞く者を引き付けると共に、様々な大切な助言を与えてくれました。

今回、『なりたい人になるために』と題して、

- ① 現在の社会情勢について、
- ② 企業が求める人材像とは、
- ③ 将来の就職者が日頃から心がけることは、

について講演を行っていただきました。

先生が、講演の最初に生徒に尋ねた質問を一部紹介します。(答えは最後に載せておきます)

【会社とは？】(2015.3.国税調査より)

1. 岐阜県には企業が約8万社あるが、日本全部だと何社になるか？
2. 1つの企業の平均従業員数は何人か？
3. 元気な会社（黒字）は全体の何パーセントか？

【面接について】

4. 第1印象はどの位（時間）で決まるのか？
5. 企業が求める人材（採用基準）は、「感謝」「感動」もう一つは？

更には、感動的な話をいくつもお紹介いただきました。

東京ディズニーランド：

開業以来、6億人が来場し、その97.5%がリピーターで、自分がお客様だったらどうしてほしいかを考える「会社」である。

そのディズニーランドで実際に起こった、お子様限定メニューであるミッキーの顔のパンケーキにまつわる、子供を亡くされた両親への店の感動的な対応について・・・等々。



<講演を聞いた生徒達の声>

私は、今日の講演をお聞きして、中学・高校と自分が本当に頑張ってきたことは何か、誰にも負けない自分の良さは何か、もっと自分をアピールできる場所はどこを見つけていきたいと思う。自分が就職するためではなく、就職したことで自分に何ができるのか、どのようにしたら喜ばれるのかを考え見つけながら大学生活を大切に過ごしたい。

当たり前で挨拶ができ、当たり前で返事ができる人、そして、自分で考えて行動ができる人になりたい。誰かが支えてくれていることに感謝を忘れないで生活しようと思った。

面接の質問の内容には、沢山の思いが詰まっているということが分かった。感謝・素直・感動ということを大切にしていきたいと心から思った。

また、一つ一つの積み重ねで、人は一歩でも、二歩でも前に進めると思ったし、それが1年となるととても大きな差になることを実感した。今日、家に帰ったらまず靴をそろえるところから始めたい。前向きに入試や自分の未来に向かっていこうという気持ちになった。

±1%の積み重ねがこんな「差」を生む

$$\begin{array}{rclcl} 1.00 & \times & 365 \text{ 日} & = & 1.00 \\ 1.01 & \times & 365 \text{ 日} & = & 37.78 \\ 0.99 & \times & 365 \text{ 日} & = & 0.026 \end{array}$$

たった±0.1の差が1年後には1500倍の差になってしまう

<答え>

【会社とは？】(2015.3.国税調査より)

1. 岐阜県には企業が約8万社あるが、日本全部だと何社になるか？

答え：259万社

2. 1つの企業の平均従業員数は何人か？

答え：23人

3. 元気な会社（黒字）は全体の何パーセントか？

答え：32%

【面接について】

4. 第1印象はどの位（時間）で決まるのか？

答え：6秒

5. 企業が求める人材（採用基準）は、「感謝」「感動」もう一つは？

答え：素直